

<経済>

○ベトナム

「男は黙ってサッポロビール」

ベトナムの 2015 年の年間ビール消費量は、前年比約 10%増でアジア 3 位の 34 億リットルでした。アジアのビール年間消費量 1 位の中国、2 位の日本が伸び悩む中で、堅調な伸びを示しています。そして、早ければ 2020 年に日本を抜いてアジア 2 位の市場になると見込まれており、ビール消費マーケットとして世界から注目を浴びています。

『三船敏郎が「男は黙ってサッポロビール」と唸る CM が放送されていた頃、一人の男子学生がサッポロビールの入社面接を受けた。その男子学生は質問に対し何も答えず、怒った面接官が「なぜ黙っているんだ」と聞くと、男子学生は一言「男は黙ってサッポロビール」と回答。これで男子学生は内定を獲得した。』そんな逸話があるサッポロビール、ベトナムで日本のビールと言え、**「SAPPORO」**です。

サッポロビールは、2011 年にベトナムに自社ビール工場を竣工し、2012 年より本格参入、現在ホーチミン市エリアでのブランド認知度は 9 割を超えているとみられるなど、着々と地盤固めを進めています。

一方、日本で 2 強と呼ばれているアサヒビールと麒麟ビール、そしてプレミアムモルツ擁するサントリーなど、他の日系ビール会社はこの将来有望な市場に未だ進出できていません。既に進出を果たしているサッポロビールも、今までは高級路線で日本風のコクのある苦味の強いビールを売りにしていましたが、思ったような売り上げを伸ばせず、今年 7 月には低価格帯のベトナム国内限定ビール「BLUE CAP」を新発売し販売のテコ入れに着手しています。

そもそもベトナムでは、サッパリとした薄味のビールが好まれており、「Sabeco」「Habeco」の国営企業 2 社で約 60%と圧倒的なシェアを誇っています。そうした中で、ベトナム政府が国営企業の経営改革の一環として、2017 年末までに国営ビール 2 社の全株式を売却すると発表しました。若年層を中心とした 1 億人に迫る旺盛な需要を狙って熾烈な争奪戦が繰り広げられるのは必至です。現在買収に名乗りを上げているのは、日本では麒麟ビール、アサヒビール、外資ではベトナムで既に 20%のシェアを獲得しているハイネケン、タイ最大のアルコール飲料メーカータイ・ビバレッジ他、ベトナム国内企業のサイゴン・セキュリティー等が参入を表明しています。

果たしてその行方はどうなるのか。日本企業が勝ち名乗りを上げ、日本風ビールを浸透させるのか、既にベトナム市場を熟知しているハイネケンか、はたまたベトナム国内企業なのか。結果次第では、ベトナムの国内景気に影響を与える可能性もあり、その動向に注目が集まりそうです。

＜社会＞

「日本秋祭り in 香港」が開催されます

2015 年香港からの訪日客数は、対前年比約 164%増の 152 万人となり、長年香港からの旅行人気ナンバーワンだった台湾を押さえ、首位に立ちました。訪日客が急増した一番の要因は、多くの都市に LCC が就航したことでしょう。しかし、訪日客が増えてもその旅行先は、東京・大阪・北海道・沖縄・福岡・京都で 80%近くを占めています。

香港人は、日本好きである一方、飽きやすい性格であるとも言われています。今後は主要都市だけではなく、地方都市の魅力を発信し、そこへの交通網を如何に整備していくかが、今後の更なる訪日客数増加の重要なキーポイントとなりそうです。

そうした中で、日本の文化や魅力を再発見してもらうため 10 月～11 月の 2 ヶ月間、「日本秋祭り in 香港」が開催されます。ビックイベントとしては、柔道男子日本代表監督である井上康生氏が来港し、10 月 10 日に講演会を開催する予定です。音楽では、男性ダンス&ボーカルユニットの winds(ウインズ)の香港公演も 11 月 5 日に九龍湾国際貿易展覽センターで開催される予定です。その他にも、「映画・芸術」「スポーツ」「パフォーマンス」「セミナー・教育関連」「フード&ビバレッジ」「キャンペーン」の 6 分野で数多くのイベントが開催される予定となっています。

四国交流会を開催しました

9 月 24 日（土）に、第三回目の四国交流会を開催しました。当日は、それぞれ四国 4 県のご当地フード（愛媛鯛めし、徳島阿波尾鳥の唐揚げ、高知かつおのたたき、香川うどん）に舌鼓を打ちながら、各県の自慢話や懐かしい郷里の話に花を咲かせました。

香港での四国は、知名度も商品数もまだまだです。しかし、自然や人柄、特産品等、自



慢できるものはたくさんあります。7 月に就航した香港－高松間の四国初の直行便は、9 月から週 3 便から週 4 便に増便されるなど好調な滑り出しで四国の素晴らしさが認められている証拠です。私たちも、今回のような交流会を通じて深耕を深め、四国の更なる発展のために、4 県で連携し、四国の魅力を香港に発信していきたいと思えます。

香港・広東省の見本市予定 (2016 年 10 月～2016 年 12 月)

香港

見本市名	場所	期間
エレクトロニクスアジア	HKCEC	10/13～10/16
香港国際照明器具フェア	HKCEC	10/27～10/30
香港国際ワイン&スピリッツ	HKCEC	11/10～11/12
コスモプロフアジア 2016 (美容関連用品)	HKCECおよび 亜洲国際博覧館	11/15～11/18
World SME Expo (流通取引サービス、金融、IT・eビジネス等)	HKCEC	12/1～12/3
香港スマートホーム展	HKCEC	12/24～12/27
香港自動車ショー	HKCEC	12/24～12/27

※ HKCEC : 香港コンベンション&エキシビション・センター

※ 亜洲国際博覧館 : アジアワールドエキスポ (香港国際空港側展示会場)

広東省

見本市名	場所	期間
中国国際中小企業博覧会 (総合展)	琶洲会場	10/10～10/13
中国国際物流&運輸フェア	SZCEC	10/12～10/14
第 120 回広州交易会 第 1 期 機械、電気、工業技術 第 2 期 キッチン、家庭用品 第 3 期 食品、医療	琶洲会場	10/15～10/19 10/23～10/27 10/31～11/4
中国国際レザーバック・ハンドバックフェア	PWTC	11/1～11/3
中国国際産業用ロボット展	琶洲会場	11/15～11/17
深圳タッチディスプレイ・タッチスクリーン展	SZCEC	11/24～11/26
中国国際食品包装・加工機械展	琶洲会場	12/5～12/8
中国国際低炭素素材展	PWTC	12/7～12/9

※琶洲会場 : 中国出口商品交易会琶洲展示館 (広州)

※PWTC : 保利世界貿易中心 (広州)

※SZCEC : 深圳コンベンション&エキシビション・センター

上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご留意下さい。

★トピックスレポート（香港人スタッフ便り）★

香港史上初の香港製航空機「Inspiration」

香港史上初の香港製航空機「Inspiration」は、オーストラリアでの 40 時間に亘る試験フライトを経て、壮大な世界ツアーに出発しました。2016 年 8 月 28 日から 11 月までの約 3 ヶ月間、距離にして 55,000km、25 カ国、50 空港、アメリカ、イギリス、オーストラリア等、世界の主要国の空港を離着陸し、地球一周を目指します（残念ながら、日本の空港はリストアップされていません）。

「Inspiration」は、RV-8 単発エンジンを備える香港初のプロペラ機で、大きさは、縦 6.3m、横 7.2m、高さ 1.7m、重量は約 500kg。最高速度は毎時 350km で、2 名まで乗員可能です。

製造には、学生、パイロット、エンジニアなど、計 500 人以上の人々が携わっており、約 1.5 百万香港ドル（約 20 百万円）のコストと約 8 年の歳月を要しました。

デザインは、キャセイパシフィック（香港の航空会社）、香港エアークラフト・エンジニアリングカンパニー、聖パウロ修道院学校の 3 者のコラボレーションによって完成しました。

香港政府は、このプロジェクトを重要なものと位置づけ、航空機産業をビジネスとして成り立たせるとともに、ローカルのプロフェッショナルなパイロットやエンジニア達の育成促進に向け、養成所をスタートさせました。

このプロジェクトの創設者である Hank Cheng は、こう言いました。
「不屈の精神で自分たちの夢を追い続けている時は、いつも最高の気分だ」と。

私はそんな Hank Cheng が香港初の航空機製作というアクションを起こしてくれたことに感謝しています。そして、多くの若者がこれに感化され、プロジェクトが継続されること、パイロットの Hang Cheng と航空機エンジニアの Gary が無事香港に帰ってくることを、心から願っています。最後に、私は彼のことを誇りに思うと同時に、これからも彼のことを全力で応援し続けたいと思います。